

師匠と同開催の菅原裕太!

来期もA級のままで、ドームの実績がある菅原裕太がシリーズリーダーとみたい。11月末の時点で今期の優勝回数は2回。それでも安定した走りを披露している。7月開催の当地は4着、2着、決勝3着だった。連日、積極的に動いていた。今開催は師匠の柏木伸介と一緒に、いつもより高いモチベーションで走る。もう一人の優勝候補が準地元の上原龍。あまり器用な選手ではないが、A級戦に落ちて番手回りも増えた。メンバー的に関東の強い機動型が不在で、今節は自力勝負になりそう。来期のS級復帰に向けて自分でもやっただ方が良さそう。上原マークは地元の矢島一弥。10月開催の静岡で落車して11月は欠場しているが、ここまでは万全な状態に戻すだろう。来期はS級だし、ベテランの域に入ってきているが楽しみな存在だ。北日本は川津悠揮が主力。ヨコよりタテの突っ込みを持ち味にしている。名前のある北日本の機動型が不在で、好位で脚を溜めるレースだ。小菅誠は柏木が勝ち上がらない限り、菅原の番手を回る。他に地元の先行力は梅山英樹、矢内良和、横田政直が出場。横田の先行力は魅力があるし予選は突破しそうだ。矢内も予選なら勝ち負け出来る選手だ。

A級 レース展望



菅原裕太 静岡100期



柏木伸介 静岡84期



上原龍 長野95期



川津悠揮 北海道96期



小菅誠 神奈川90期



梅山英樹 群馬72期

■ 出場予定選手 (A級) ※2021年11月17日現在のデータです。

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	川津 悠揮	96	北海	徳永 真一	100	青森	竹山 慶太	105	宮城	佐藤 朋也	89	秋田	平澤 秀信	73	北海
	坂口 卓士	88	福島										高森 圭介	83	栃木
	山口 翼	98	茨城	梅山 英樹	72	群馬	矢島 一弥	92	群馬	茂木 和臣	63	埼玉	樋口 瑛土	109	東京
関東	飯田 威文	67	埼玉	高橋 泰裕	107	埼玉	上原 龍	95	長野	柏木 伸介	84	静岡	木下 章	61	長野
	江本 博明	90	千葉	神山 裕行	82	神奈	小菅 誠	90	神奈				篠田 宗克	65	千葉
南関東	菅原 裕太	100	静岡	渡邊 颯太	109	静岡							安坂 洋一	79	神奈

新鋭レーサー2人の力勝負!

強い同期達がA級2班に特別昇班、あるいはS級に特進して優勝している選手もいる。この2人に多少、焦りはあるだろうが、新人の深瀬泰我と邊見祐太の争いとみる。深瀬は師匠の海野晃の教えを忠実に守り、ほとんどのレースで主導権を取っている。デビューしてから11月末の段階で優勝は3回。9月開催の函館では完全優勝している。当地は初めてだが、脚質からも不安はない。邊見も深瀬と同じく仕掛けは早い。優勝は9月開催の静岡だけだが、その時は完全優勝だった。この新鋭レーサー2人の主導権争いは壮絶になりそう。深瀬マークは同僚の丸山勝也。72点持っているし抜くのは無理でも、離れはしなそう。邊見マークは甲信越のラインで動ける藤本龍也。タテ脚兼備だし、差しの優勝もありそう。脚元からは沼川夢久が、出場。チャレンジなら脚元は沼川夢久が、出場。藤本と連係出来るのは大きい。穴の展開なら沼健治だろう。

チャレンジ レース展望



藤本龍也 長野98期



沼川夢久 群馬81期

■ 出場予定選手 (チャレンジ) ※2021年11月17日現在のデータです。

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	永井 亮	89	北海	小塚 慎二	92	北海	佐藤 拓哉	63	宮城
	阿部 利光	77	宮城	三浦 綾	105	宮城	村上 輝久	75	秋田
	田村 純一	92	福島	佐藤 裕輝	98	福島			
関東	落合 豊	69	茨城	関 敬	81	栃木	沼川 夢久	81	群馬
	鈴木 祥高	83	埼玉	細沼 健治	89	埼玉	樋口 絢土	96	東京
	駒井 大輔	98	東京	村松 俊弥	96	山梨	藤本 龍也	98	長野
	田村 武士	84	新潟	邊見 祐太	119	新潟			
	井上 典善	66	千葉	山崎 明寛	81	千葉	北澤 育夫	74	神奈
南関東	梶山 大輔	76	神奈	渡辺 福太郎	103	神奈	小坂元 雄斗	117	神奈
	栗田 雅也	84	静岡	丸山 勝也	85	静岡	深瀬 泰我	119	静岡

木暮安由 S1班 92期



最もタイトルに近かった男だが、年齢的に脚が落ちて行くのは仕方ない。ただ、関東の若手自力選手が盛り上がりしてきた。まだ、その恩恵を預かれる立場。来年は本当に勝負の年。

小林泰正 S1班 113期



言葉のチョイスのセンスが上手い。理詰めで記者受けするコメントを言わせてから、あの新田祐大より上かも。戦法を完全に自在にシフトチェンジした方が個人的に良いと思っている。

稲村成浩 S1班 69期



成績に関係なく群馬ナンバーワンのスター。これは誰もが認めるところだ。雰囲気も全盛時のままだし、天才が天才と言われる所以だ。

金子真也 S1班 69期



群馬で一番人望のあるアニキ的な存在。今年は、何度も地元戦を走ったが、メンバーに恵まれなかった。来年はF1ぐらいは優勝して欲しい。

小林大介 S1班 79期



今年も一杯、毒を吐いてもらって、貴重なコメントももらった。いつもニコニコ大ちゃんスマイルは、年齢を感じさせない。昔から思っているが、意外と勝負強い。

天田裕輝 S1班 91期



怪我で低迷したが、少し戻ってきた。最近は番手のレースも多く、器用さも出てきた。この人も本命で買うより、ノーマークの時に穴で買う選手。

蒔澤鴻太郎 S1班 111期



群馬で一番長い距離を踏める選手。航続距離が長いものだから、それを武器にした方が良い。来年は、もうひと皮むきたい。

佐々木悠葵 S2班 115期



小倉競輪祭では準決に進出して、単騎で見せ場を作った。7車は無双状態だが、9車の組み立てが問題。あまり感情を表に出すタイプではないし、今時の若者。来年はG1の決勝が最低でもノルマだ。

恩田淳平 S2班 100期



おんべいさん。みんなから好かれるキャラでムードメーカー。普段は自在だが、兄弟子の木暮が付いたりすると、昭和の先行を見せる。

稲村好将 S2班 81期



S級中堅のマーカースとして、長く、この位置をキープ。地味かもしれないが、コース取りは若手の見本になっている。

石川雅望 S2班 91期



不器用だけど、すぐに内に強引に入り、危ない選手。それがイメージとなっている。もう少しタテ脚が欲しい。

三好恵一郎 S2班 99期



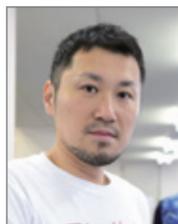
間違いなく弟弟子の佐々木の存在が刺激になっている。鼻っ柱は強いし、競輪選手向きの性格。せっかく群馬に競輪留学したのだから、F1ぐらいは獲って欲しい。

矢口啓一郎 S2班 86期



昭和の競輪をやる最後の世代。強かったのは誰もが認めるところ。人の良さがレースに出てくるが、もっとガムツク走って欲しい。

櫻井学 S2班 84期



選手会の支部長を降りてから成績がアップ。本人にも言っているが、今でも支部長をやっていたら、公務が忙しくチャレンジに落ちていたはずだ。

中島将尊 S2班 105期



これは何度も書いているが、ガールズの選手みたいで優しい顔つき。数年前の親王牌でリミッターを切り、危ない走り。あれを普段からやれば、成績はアップする。

宮内善光 S2班 88期



S級とA級がエレベーターになっている。1年を通じて、S級の位置を確保したい。

田村真広 S2班 83期



群馬にも色々なグループがあるが安中グループの一員。ただ、昔に比べて群馬も選手数が少なくなり、大きなグループがなくなった。今期の失格は痛い。

兵藤一也 S2班 82期



落車の影響か、今年1年、走っていない。一匹狼だし、群れないマーカース。早く走る姿を見たい。

競輪情報 はこちら! さらには現地マル秘レポートなど! 現役トップ選手、豪華解説陣の書き下ろしコラムが満載! ここにこれば競輪が丸わかり!

競輪専門紙・出走表がコンビニのマルチコピー機から24時間365日出力可能!!

eプリントサービス 03-5830-1808

netkeirin